

個別施設計画

策定年月 R3.1

施設名	備前緑陽高等学校		所在地	備前市西片上91-1	
敷地面積	37,845.57 m ²		棟数	43 棟 (計画記載対象 16 棟)	
延床面積	13,187.63 m ²			※対象は200㎡以上の建物(車庫・倉庫等は500㎡以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 6弱		津波 —		浸水 —	
建築規制	非線引都市計画区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2019 年度)	電気 266,657 kwh	ガス 1,171 m ³	水道 2,509 m ³	燃料 (灯油) 3,464 ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 備前市指定緊急避難場所・指定避難所(津波・洪水・地震)				

1 施設内建物の概況

名 称	理科特別教室棟(40棟)19-6	特別教室棟(58棟)19-7,8	普通教室棟(56棟)21-1
築年(西暦)	1965 年	1968 年	1967 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	198.56 m ²	273.18 m ²	251.11 m ²
延床面積	595.69 m ²	819.54 m ²	750.50 m ²
主要な用途 (室名等)	化学教室 視聴覚教室	生物教室 地歴教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 不適
	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適
	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強〜7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	普通教室棟(88棟)21-3	特別教室棟(59棟)23-1	管理教室棟(60棟)23-2
築年(西暦)	1974 年	1970 年	1971 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	93.00 m ²	182.89 m ²	196.56 m ²
延床面積	279.00 m ²	548.67 m ²	589.68 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	美術教室 音楽教室 書道教室	普通教室 トレーニングルーム
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性	不適	適	適
※耐震診断済のみ	適	適	適
長期使用の 適否	適	適	適
※建物傾斜 ※4 ※地盤沈下 ※5	適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	普通教室棟(64棟)23-3	本館(65棟)23-4	窯業科実習室棟(61棟)25
築年(西暦)	1972 年	1974 年	1971 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	172.67 m ²	195.83 m ²	331.24 m ²
延床面積	552.28 m ²	656.47 m ²	662.48 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室 保健室	事務室 LL教室	セラミック材料実習室 職員室
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適
	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適
	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	焼成実習室棟(75棟)30	窯業科実習棟(77棟)31	産業教育実習棟(81-2棟)33-1,3
築年(西暦)	1987 年	1989 年	1994 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	278.09 m ²	281.19 m ²	754.37 m ²
延床面積	278.09 m ²	562.38 m ²	1754.30 m ²
主要な用途 (室名等)	焼成実習室	工芸実習室 機器分析実習室	機械加工実習室 被服実習室 福祉介護実習室
主要な設備 (屋外を含む)			空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	武道場(86棟)34	体育館(90棟)35	産業教育実習棟(92棟)36
築年(西暦)	2001 年	2003 年	2003 年
構 造	鉄骨 造 2 階	鉄骨 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	451.15 m ²	1225.29 m ²	541.82 m ²
延床面積	504.20 m ²	1416.95 m ²	1246.80 m ²
主要な用途 (室名等)	武道場	体育館	溶接塑性加工実習室 電子電気基礎実習室 工業基礎実習室
主要な設備 (屋外を含む)		空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	記念館(84棟)40
築年(西暦)	1997 年
構 造	鉄骨 造 2 階
建築面積	193.83 m ²
延床面積	387.66 m ²
主要な用途 (室名等)	食堂 会議室
主要な設備 (屋外を含む)	
利用状況	中
耐震性 ※1	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

予防保全を図りながら、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
理科特別教室棟(40棟)19-6	予防保全を図る。
特別教室棟(58棟)19-7,8	設備等の定期更新を行う。
普通教室棟(56棟)21-1	設備等の定期更新を行う。
普通教室棟(88棟)21-3	設備等の定期更新を行う。
特別教室棟(59棟)23-1	予防保全を図る。
管理教室棟(60棟)23-2	予防保全を図る。
普通教室棟(64棟)23-3	予防保全を図る。
本館(65棟)23-4	予防保全を図る。
窯業科実習室棟(61棟)25	予防保全を図る。
焼成実習室棟(75棟)30	予防保全を図る。
窯業科実習棟(77棟)31	予防保全を図る。
産業教育実習棟(81-2棟)33-1,3	予防保全を図る。
武道場(86棟)34	設備等の定期更新を行う。
体育館(90棟)35	設備等の定期更新を行う。
産業教育実習棟(92棟)36	予防保全を図る。
記念館(84棟)40	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール (概 要)

予防保全を図る。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
理科特別教室棟(40棟)19-6	予防保全				予防保全を図る。						
特別教室棟(58棟)19-7,8	設備等の 定期更新									LED	
普通教室棟(56棟)21-1	設備等の 定期更新									LED	
普通教室棟(88棟)21-3	設備等の 定期更新									LED	
特別教室棟(59棟)23-1	予防保全				予防保全を図る。						
管理教室棟(60棟)23-2	予防保全				予防保全を図る。						
普通教室棟(64棟)23-3	予防保全				予防保全を図る。						
本館(65棟)23-4	予防保全				予防保全を図る。						
窯業科実習室棟(61棟)25	予防保全				予防保全を図る。						
焼成実習室棟(75棟)30	予防保全				予防保全を図る。						
窯業科実習棟(77棟)31	予防保全				予防保全を図る。						
産業教育実習棟(81-2棟)33-1,3	予防保全				予防保全を図る。						

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
武道場(86棟) 34	設備等の 定期更新									LED	
体育館(90棟) 35	設備等の 定期更新									LED	
産業教育実習 棟(92棟)36	予防保全				予防保全を図る。						
記念館(84棟) 40	予防保全				予防保全を図る。						

4. 概算費用

--

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R7.3	普通教室棟(56,88棟)、特別教室棟(58棟)、武道場(86棟)及び体育館(90棟)において、設備等の定期更新を追加